

科 目 名	栄養総合演習Ⅱ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	久 野 一 恵・熊 川 景 子						
開 講 年 次	4	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	管理栄養士業務のシュミレーションを通じて、管理栄養士に求められている専門性を理解し、実践するための実力を養う。理論を実践で活用するには、状況を把握し、評価し、計画する能力が必要である。グループ討議、ロールプレイなどの参加型の学習により、これまで栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学等の講義で学んだ知識の統合と、これらの実習で学んだ技術の活用をはかり、社会で実践できる技能の獲得を目指す。						
授 業 の 到 達 目 標	①特定保健指導において、個別支援とグループ支援を組み合わせた保健指導プログラムを作成することができる。 ②データに基づいた地域診断とその結果に基づいた施策を考えることができる。 ③チーム医療における管理栄養士の責任の重要性を理解できる。 ④身体所見や問題点の把握をし、患者の QOL をふまえ、栄養計画を立てることができる。 ⑤患者の日常生活に合わせた指導ができる。						
学 習 方 法	ロールプレイ、事例検討、グループワーク						
テキスト及 び参考書等	講義内で指示。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎	90		
授業態度	○	○	○	○	10		
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	特定保健指導（個別）の計画						
第 2 週	特定保健指導（個別）の実際						
第 3 週	特定保健指導（グループ）の計画						
第 4 週	特定保健指導（グループ）の実際						
第 5 週	地域診断の実際						
第 6 週	地域診断結果に基づく施策の提案						
第 7 週	地域診断（発表）						
第 8 週	患者把握のツール～管理栄養士がやるべきこと～						
第 9 週	症例検討（1）						
第 10 週	症例検討（2）						
第 11 週	症例検討（3）						
第 12 週	症例検討（4）						
第 13 週	個人指導（初回）						
第 14 週	個人指導（継続）						
第 15 週	在宅訪問栄養食事指導の実際						
第 16 週							
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						